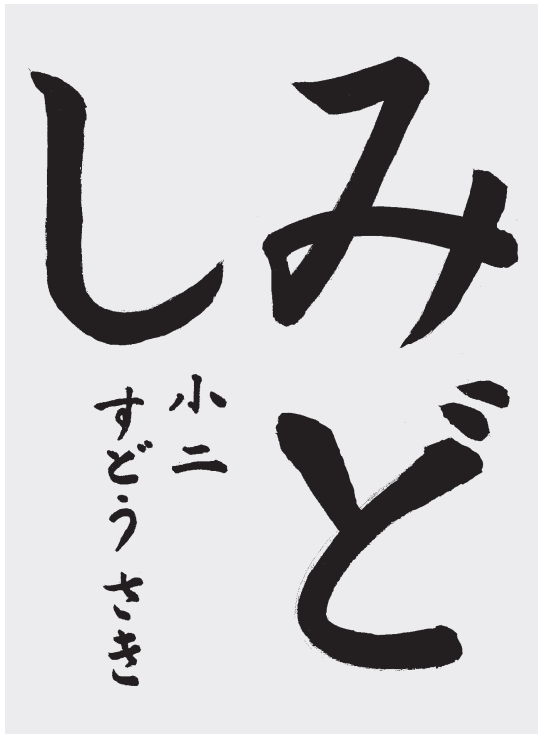


〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



白石和楓先生

幼・小学1年参考手本



田中扇溪先生



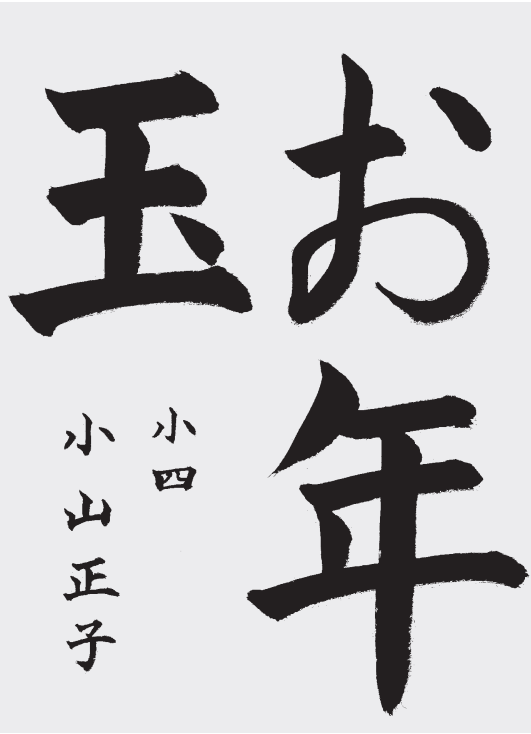
東福青篁先生



種谷萬城先生

〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小林琴水先生

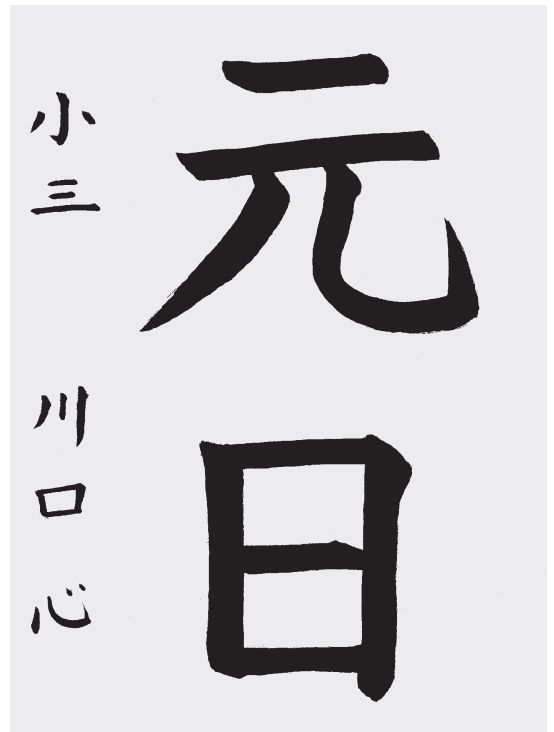
小学3年参考手本



川村美泉先生



小浜大明先生



柳橋香仙先生

〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



片岡豪峰先生

小学5年参考手本



坂本素雪先生



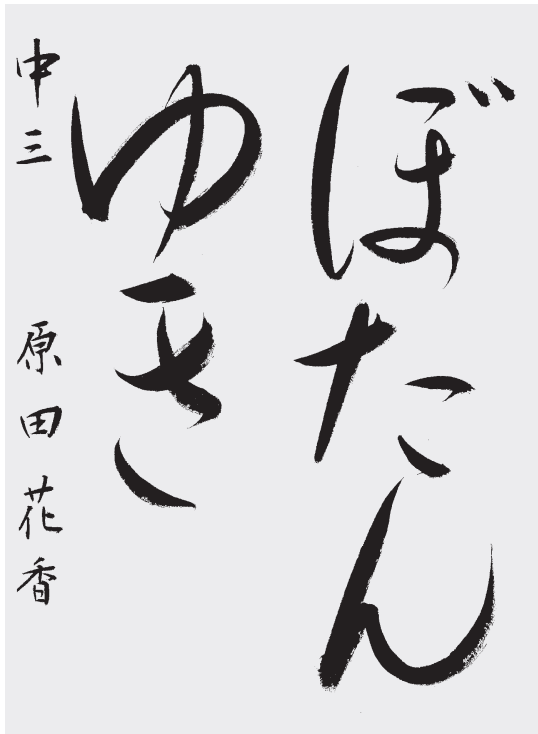
川島舟錦先生



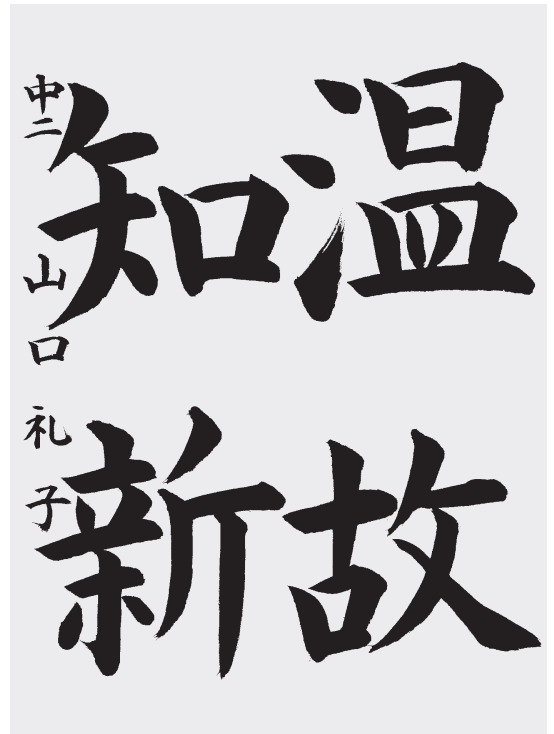
名越蒼竹先生

〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



下谷洋子先生



小竹石雲先生



広瀬舟雲先生

中国の歴史上の人物で一番書が上手といわれている人が王羲之です。筆脈に注目して下さい。

※この課題は行書で書くこと。



大聖（集字・拡大）

●有名な古典の名跡に挑戦してみよう

集字聖教序
（中国・東晋時代）
王羲之

発展〔中学生〕

毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

1年

あける
1 2
わ
わ(教)
わ(明)
わ(教)
わ(明)
和和わ
和和わ
わ(教)
わ(明)

へび
へび(ゴ)へび(明)へび(教)
部部部
比比比
比比比

3年

少しそる
つながる
気もちで
1 2 3 4
学
学
学
学

学ぶ(ゴ)学ぶ(明)学ぶ(教)
不不ふふ
学学学
学学学

4年

浅く接する
つながる気持ちで
少しそる
お年
お年
お年

お年玉(ゴ)お年玉(明)
お年玉(教)
浅く接する
一丁干王玉
年
年
年

5年

扁平 等間かく
賀正
賀正
賀正

賀正(ゴ)賀正(明)賀正(教)
等間隔
一丁下正正
賀正(教)
賀正(明)
賀正(教)

計画案(ゴ)
計画案(明)
計画案(教)
案画
案画
案画

計画案(ゴ)
計画案(明)
計画案(教)
案画
案画
案画

新年(ゴ)新年(明)新年(教)
新年(教)
新年(明)
新年(ゴ)

新年
新年
新年
新年

新年
新年
新年
新年

新年
新年
新年
新年

カルタ(ゴ)カルタ(明)カルタ(教)
カルタ(教)
カルタ(明)
カルタ(ゴ)

カルタ
カルタ
カルタ
カルタ

2年

し
し
し
し

元
元
元
元

元日(ゴ)元日(明)元日(教)
元日(教)
元日(明)
元日(ゴ)

毛筆参考手本解説(2)

6年

横画は等間かくに

中心
千鳥

下部を長くのばす

〈筆順〉

一 二千

一 一 戸 自 鳥 鳥

〈許容〉

子 の と め の 方 向

千鳥(ヨ) 千鳥(明) 千鳥(教)

中心 中心
富士 山頂
山頂

浅く接する

〈筆順〉

一 一 山 山

一 十 十

一 山 山

丁 丁 頂 頂 頂 頂

富士山頂(ヨ)
富士山頂(明)
富士山頂(教)

中学

少しあける

中心 中心
温 新
知 故

〈筆順〉

温 故 知 新(明)

温 故 知 新(教)

温 故 知 新(明)

ぼたん ゆき

ぼたんゆき(牡丹雪)

雪の結晶が多数付着し合い大きな雪片となつて降る雪。

牡丹の花びらのように降るからとも、ぼたぼたした雪の意からともいう。

| | |
|---|---|
| A | ふだん私たちはAの形で書いていますが、平安時代の仮名ではBのように書くこともあります。 |
| B | |

ふだん私たちはAの形で書いていますが、平安時代の仮名ではBのように書くこともあります。

発展

集字聖教序

大 聖

大 聖

収筆の変化

楷書よりも柔らかい起筆・送筆・収筆で

聖

点画や字形が曲線的になる

点画のつながりを意識しながら、和らぎのある運筆で書きましよう。

ひらがなの字源

(398)

| き | ゆ | ん | た | ほ | 字源 | 字形 |
|---|---|---|---|---|----|----|
| 幾 | 由 | 无 | 太 | 保 | | |
| 幾 | 由 | 无 | 太 | 保 | | |

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には字源に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

| | | | |
|-----|------|-----|--|
| 支部名 | 出 | お正月 | |
| 段・級 | 山 | は | |
| 学年 | から | つ | |
| 名前 | のぼる。 | 日 | |
| | | の | |
| | | | |

| | | | |
|--------|-------|-----|--|
| 支部名 | は | お正月 | |
| だん・きゅう | し | の | |
| がくねん | ず | あ | |
| | か | さ | |
| | で | | |
| | す。 | | |
| なまえ | | | |
| | さとうゆか | | |

「日」「出」「山」の画のつき方に気をつけましょう。

まっすぐに「たて画」が出る

「日」

「出」

「山」

「日」のひつじゅん

「出」のひつじゅん

「山」のひつじゅん

「日」(日) 明(日) 教(日)

「出」(出) 明(出) 教(出)

「山」(山) 明(山) 教(山)

「正」のひつじゅんを正しく書きましょう。

「す」

「で」

「月」

「正」

「す」の濁点を打つ位置に注意

「月」のたてながに注意

「正」のさいごのかくをながかく

「す」のたてながに注意

「で」のたてながに注意

「月」(月) 明(月) 教(月)

「正」(正) 明(正) 教(正)


〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

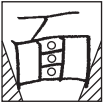
小学4年


小学3年

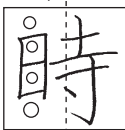
| | | | |
|-----|----------------------------------|---|---|
| 支部名 | 面 に 光 っ て い た。 | ク リ ー ン に は 星 が 一 | プ ラ ネ タ リ ウ ム の ス |
| 段・級 | | | |
| 学 年 | | | |
| 名 前 | | | |
| | | | |
| 四 | 本間希衣 | | |

| | | |
|-----|----------------------------------|--------------------------------------|
| 支部名 | 三 百 キ ロ で 走 る。 | 新 か ん 線 は 時 そ く |
| 段・級 | | |
| 学 年 | | |
| 名 前 | | |
| | | |
| 三 | 春日美有 | |

中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。


中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

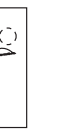
中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

中心
中心と横分間を整えて書き
ましよう。
〔目〕と「生」の組み立て
カタカナもしっかり書きましよう。

筆順や点画の長短に気をつけて正しく書きましよう。
右はしをそろえる

〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

| | | | |
|-----|----------|------------|-----------|
| 支部名 | 飛行許可が出た。 | タワーから四二二便の | 空港のコントロール |
| 段・級 | | | |
| 学年 | 六 | | |
| 名前 | 大森智人 | | |

| | | | |
|-----|-------|------------|-----------|
| 支部名 | を輸入して | の貿易で多くの農産物 | 日本は、アメリカと |
| 段・級 | | | |
| 学年 | 五 | | |
| 名前 | 山口希実 | | |

ていねいな運筆で字形を正しく書きましょう。

己は小さく

〈筆順〉
 シー 沖 洪 港 港
 港 港 港 港 港 港 港 港

〈筆順〉
 便 便 便 便 便 便 便 便 便 便

縦画は左払いの中央で浅く接する
 四面目が中心になる、左右の
 つりあいよく

中心
 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛

〈筆順に注意〉
 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛

画数の多い漢字を正しく書きましょう。

「罒」と「貝」の組み立て

外形
 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿

〈筆順〉
 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿

中心
 易 易 易 易 易 易 易 易 易 易

「日」と「勿」の組み立て

〈筆順〉
 易 易 易 易 易 易 易 易 易 易

はらいの角度に注意

輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸

〈筆順〉
 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸 輸

〔1月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

| | |
|------|--|
| 支部名 | 冬の連峰に広がります。 蔵王の樹氷。その幻想的な景色が 「スノーモンスター」とも呼ばれる |
| 段・級 | |
| 学年 | |
| 中二 | |
| 名前 | |
| 寺城 礼 | |

| | |
|------|--|
| 支部名 | 冬の連峰に広がります。 蔵王の樹氷。その幻想的な景色が 「スノーモンスター」とも呼ばれる |
| 段・級 | |
| 学年 | |
| 中二 | |
| 名前 | |
| 寺城 礼 | |

やさしい行書

地名を楷書と行書で書きわけてみましょう。

蔵王樹氷 (楷書) 直線的
 蔵王樹氷 (行書) 曲線的

かなは漢字より小さく書きましょう。

中心
 その幻想的な
 呼 (そりは右にふくらませてはねる)
 等しい間隔で <許谷> はなす 方向
 景 目 口 目 小 とめ

これからの作品締切日と課題

令和7年3月号までの作品締切日と毛筆課題

| 中学生 (全学年共通) | | 小6 | 小5 | 小4 | 小3 | 小2 | 幼・ 小1 | 締切日 | |
|-------------------|------|------|-----|----|------|-----|----------|------|----|
| あらしやま (高野切第3種) | 樹氷 | 建築 | 寒風 | 立春 | 豆まき | ソリ | ほ | 2月6日 | 2月 |
| | 窓の景色 | 月面着陸 | 活性化 | 雪原 | 外国 | あられ | おに | | |
| はるのうた (高野切第3種) | 春風 | 将来 | 再利用 | 活気 | 文化 | 山 | れ | 3月9日 | 3月 |
| | 持続可能 | 卒業写真 | 伝統 | 竹馬 | うぐいす | マリモ | なわ | | |

2月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

小 5
つ風土方言
いたや生活は、
ことばにその
ば深く土地
です。結びの

幼・小1
のれ ゆき
い きは
ぞう し
うこ ぜん

小 2
ん車 公園
が に
あ 大
り き
ま な
し か

小 6
くだ 先生
さい 伝
い わ
ま る
し 宝
た 物
。 を
見
せ 後
て に
故郷

小 3
は 教室
っ に
て 学
あ 級
り 新
ま 聞
し が

中学生
力 創造
で 是過去
。 ながら、
― 晶 新し
子 しい未
の 来を
言 発
葉 明
― する
能

小 4
る土カ
ののエ
地中ル
上 に
に い
出 て
て、
き 冬
ま 春
す。 間
な は



1月号の清書のしめきりは、
1月6日(月) 必着
おくれないようにお送りください。
尚、2月号の雑誌(1月6日締切バーコード
出品券)は、12月23日(月) 発送予定です。

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第94回 石碑建立物語3

石碑を作る時、碑本体をどの「石材」にするのか考える必要がある。「発祥の地」と刻すので、最初、「武蔵野女子学院」を創設した学祖高楠順次郎博士に因み、先生を顕彰する意味で、先生の出身地広島県の石が良いのではと思いついた。いろいろ調べたが、「千年先まで風化・摩滅しないでもつ石」という理想に叶う岩石が残念ながら見当たらなかった。隣の岡山県から採石される有名で人気のある万成（まんなり）石はどうだろうと思いつき、岡山の採石場にも行ってみた。とてもきれいな桜色で巨石も存在する。しかし、岡山市内に立つ神社の江戸時代に造られた万成石の石造物などを実際に見て回ると、早いものは150年ほどで風化が始まっていることが分かった。日本の高級墓石材を表す言葉として「東の本小松（ほんこまつ）、西の庵治石（あじいし）」というフレーズがある。そこで、学祖の故郷広島県三原市周辺という枠を同じ瀬戸内海沿岸の各地まで範囲を広げた時に香川県高松市の瀬戸内海に面した山から「庵治石」という花崗岩のダイヤモンドともいわれる日本一堅く摩滅しにくい美しい石が産出されることになった。私は東の王者・本小松石なら神奈川県真鶴にある採石場に行ったことがあり、東京の霊園や神社で人気のある本小松石の石造物の経年劣化の様子はずでに知っていたが、西の王者・庵治石に関してはまだ調査したことがなかった。折しも、ちょうど新型コロナウイルスが蔓延し、なかなか香川県に行くことが出来なかったため、全国の史跡を実際に巡り歴史上の石造物の様子や情報に詳しい歴史学専門の友人に相談すると、愛媛県に700年ほど前に庵治石で建立された石塔群が現在も存在するということが、京都にもこの石を用いた古い碑がいくつもあるとのことを教えていただいた。また、様々な岩石の成分・耐久性について詳しい地質学専門の友人に相談する

と、私が理想とする条件を適えるのには「庵治石が最適」と太鼓判を押してくださり、私自身も適材は「この石しかない」という結論に至ったのである。

「九條武子夫人歌碑」の姿がモダンで気品のあることは前号で記したが、この品の良さを出来るだけ取り入れたいと思いつき、碑の大きさについては、築地本願寺より「この歌碑より小さく」という条件があるので、石碑本体正面の石の横幅は、歌碑と同じ141cmにしたが、厚さ81cmを70cmに、高さ129cmを110cmにした。厚さを11cm薄くした分、高さは19cm低くして、碑の本体を四角い豆腐を厚く切ったような安定感のある形にし、都心において今後起こるかもしれない大地震への対策として「地震にも、津波にも強い」碑の形状と構造を意識して設計したのである。碑石の頭頂部の形は3案制作したのだが、一番オーソドックな緩やかなアーチ形が選ばれた。

碑のデザインについてであるが、「千年の風雪に耐える碑」とすると、余計な装飾を付けないということが肝要と考えた。それは、オシャレな細工ほど大敵で風雨の浸食による劣化が早々にして生ずるからである。よって現在流行しているミニチュメント式の記念碑案は、100年以上の長きにわたりそのままの姿をしっかりと保てるか疑問なのでこの記念碑案としては、除くこととしたのであった。庵治石と決めたのはよいのだが、制作していただくよい石材店をどう選ぶかが一番の悩みであった。東京の石材店に頼むのが良いかそれとも香川県の庵治石の山の近くの石材店に頼むのが良いのかである。まず、東京の比較的大きい石材店に行ってみた。ここで庵治石の墓石を初めて見せていただいたが、とても高価であった。盛んに自社の採掘場があるという茨城県の真壁石を薦められたので、ここでは庵治石での制作は無理と感じたのですぐお暇した。

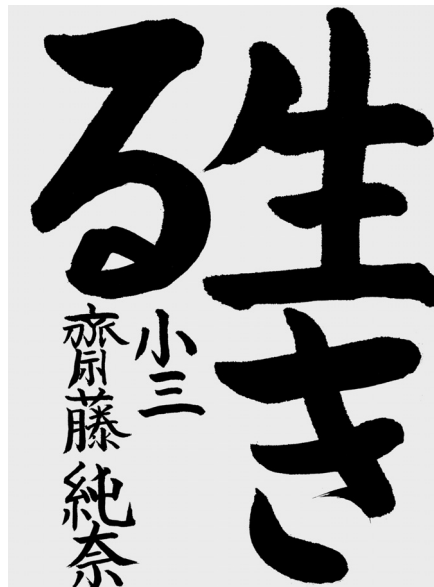
(つづく)

今月のホープ



小六 佐藤隆一 (青華会)

力強く筆勢に溢れ、氏名まで一貫したリズムで書き切り見事です。何より線に宿るしなやかな趣に惹かれます。



小三 齋藤純奈 (成東)

堂々と力強く大らかに書けました。しっかりした線と字形、名前まで見事です。明るい希望を感じます。

| | | | | |
|-----|------|-----------------|----------------|----------------|
| 支那名 | 熊野堂 | 送った三通の手紙の総称である。 | これは弘法大師・空海が最澄に | 国宝に指定された「風信帖」。 |
| 段・級 | 中三 | | | |
| 学年 | 村上寧音 | | | |
| 氏名 | | | | |

中三 村上寧音 (熊野堂)

流れるような、リズムを感じさせる美しい行書作品。伸びやかな線で全体を構成。名前まで気脈通じ見事な作。

| | | | | |
|-----|------|---------|------------|-----------|
| 支那名 | 竹の子 | を特集します。 | 遠足とまちの工場見学 | 次の学級だよりでは |
| 段・級 | 五 | | | |
| 学年 | 折原琉斗 | | | |
| 氏名 | | | | |

小五 折原琉斗 (竹の子書道教室)

筆圧強く丁寧な書き振り。線間がクリアで余白が美しい。骨格がしっかりした字形で見事な作品に仕上がりました。

秋季昇段級試験最優秀作品

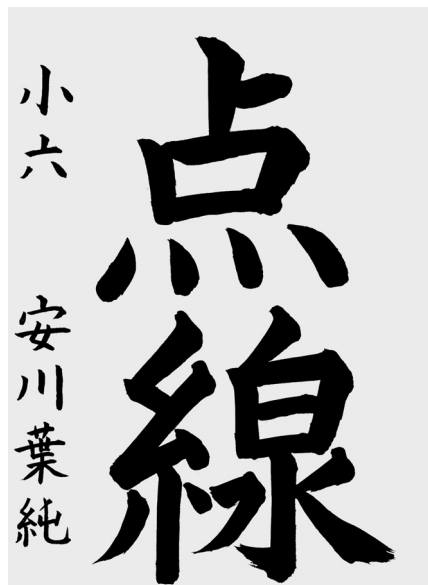


気持ちよい風が吹き抜けるようなタッチで、伸びやかにスケール大きく運び、名前も上手く調和し、品格のある作品です。

| | | |
|-----|------|--|
| 支部名 | 昌水 | 逃げ出さずに戦うこの気持ち は、僕たちの社会では勇気と いう名前と呼ばれている。 |
| 段・級 | 準特 | |
| 学年 | 中三 | |
| 氏名 | 吉田乃愛 | |
| | | |

直線を生かした行書の骨格が魅力的です。文字のふところが広く明るく点画を続ける線ものびやかで心地よいです。

中三 庄子晴太郎(竹の子書道教室)



難しいバランスの二字でしたが、字形も線質も美しく、基本がしっかり把握されている様子が頼もしく、名前も丁寧で充実しています。

| | | |
|-----|------|---|
| 支部名 | 桐の会 | 今年もガンは群れを 率いて村はずれのぬま 地にやっ て来ました。 |
| 段・級 | | |
| 学年 | 六 | |
| 氏名 | 古屋花穂 | |
| | | |

楷書の点画の基礎基本をしっかりと学習し、字形をよく整えた堂々とした力作です。潤いのある線が光彩を放ちました。

小六 安川葉純(治田書)

小六 古屋花穂(桐の会)

書道芸術学生版⇒書道芸術（競書誌）移行手続きについて

中学3年生（4月締め切り作品から書道芸術への出品が可能となります。）

中学3年生 書道芸術学生版 3月9日締め切りまで出品可能です。

高校1年生 書道芸術 4月15日締め切り（3月号掲載）から出品可能です。

「書道芸術」に出品するには
バーコード出品券の申請と購読届の提出が必要です。

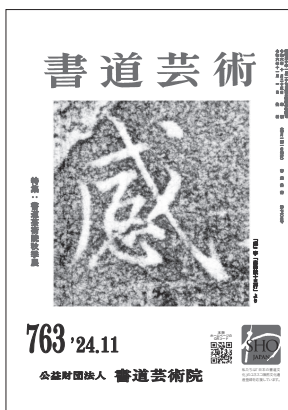
申請用紙は、事務所までご請求ください。

※指定形式以外の申し込みは、お受けできません。

※4月15日締め切りから出品希望の場合は、3月10日までにご申請ください。

書道芸術（高校生以上の方対象）雑誌のご案内

書道芸術学生版の雑誌は中学校3年生までの競書雑誌になりますが、高校1年生からは、書道芸術（高校生以上の方対象）の競書雑誌があります。高校生になってからも、書道を続けたい中学3年生の方はぜひご参考になさってください。
見本誌もお送りすることができますので、興味を持った方は書道芸術院までお問い合わせください。



公益財団法人 書道芸術院

〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7

東神田プラザビル3階

TEL：03-3862-1954

（10：00～16：00）

FAX：03-3862-1957

書道芸術誌及び書道芸術学生版購読について

本誌の購読中止を希望される場合には必ず、書道芸術院事務所までご連絡ください。

連絡がないと本誌は三ヶ月間はそのまま送られていくことになります。誌代が未納入の場合でも扱いは同じです。必ず中止の連絡をお願い致します。

また、中止によって誌代に残金が生じた場合は返金を致します。この場合、返金額が3,000円に満たない時は同額分の切手をお送りしております。あわせてご了承ください。

よろしく願いいたします。

幼・1年

ほ
たとうたろう

2年

おに
小一 たかたけい

れあら
小二 白石カ

3年

豆ま
小三 田中美和

4年

外国
小三 林知子

雪原
小四 上田友子

5年

寒風
小五 佐川春美

6年

活性化
小五 上田文代

着月陸面
小六 田中小春

中学

樹氷
中一 三谷洋二

窓の景色
中二 藤山春香

あま
中三 松井俊子

編集余録

○秋季昇段級試験の最優秀作品と特待生に合格された方を紹介しました。また、審査長の下谷洋子先生より総評を頂きましたので、今後の学習の参考にしてください。皆さんの一層の上達を願っております。

○2025年(令和7年)の干支は「乙巳(きのとみ)」です。干支というところね・うし・とら・から始まる「十二支」を思い起こしますが、本来は、「十干」と「十二支」を組み合わせた「十干十二支」を意味します。

「十干十二支」とは、十干と十二支を組み合わせ60通りの年号を作り出す古代中国で生まれた曆法です。十干は「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の10種類、十二支は「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の12種類があり、順番に組み合わせます。2025年は十干の「乙(きのと)」と十二支の「巳(み)」が組み合わさった「乙巳(きのと・み)」の年で、60通りの中で42番目になります。

十干や十二支は、それぞれ独自の意味を持ち、乙(きのと)は、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。

巳(み・へび)は、神様の使いとして信仰されており、脱皮を繰り返すことから「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力につながる縁起のいい動物とされています。この2つの組み合わせである「乙巳」の年は、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味があるそうです。

(悠輝)